

サステナビリティ重点課題 進捗・実績（2024年8月現在）

							※ 会社略称表記 SH: サッポロホールディングス、SB: サッポロビール、PS: ポッカサッポロ、 SRE: サッポロ不動産開発、SLN: サッポロライオン、SGF: サッポログループ食品、 SBL: スリーマン、SUSA: サッポロUSA、SVL: サッポロベトナム、PK: ポッカ、YSM: ヤスマ、 FBS: フォーモストブルーシール、SSI: 神州一味噌	
区分	最注力	重点課題	具体的取り組み	指標	目標設定会社	目標年	目標	2024年上期までの実績
環境との調和	●	脱炭素社会の実現	自社拠点・サプライチェーンにおける温室効果ガス排出削減	・温室効果ガス排出削減量	サッポログループ	2030年	・スコープ1,2 温室効果ガス排出量を2022年比で42%削減	【2023年実績】 175.0千t（2022年比92.5%）
					サッポログループ (SB,SBL,PS)		・スコープ3 温室効果ガス排出量を2022年比で25%削減	【2023年実績】 1,104.6千t（2022年比97%）
							・FLAGスコープ1,3 温室効果ガス排出量を2022年比で31%削減	【2023年実績】 64.7千t（2022年比90%）
		循環型社会の実現	・循環型社会に対応した容器包装の実現 ・プラ資源のリデュース・リサイクル	・PETボトル製品 再生材利用率	SB	2030年	・国内製造ワインPET 再生材利用率50%	【2023年実績】 再生材利用率 50.87 %
					PS	2030年	・国内販売PET製品 再生材利用率50%	【2023年実績】 再生材利用率 9.7%
				・広告品類プラスチック削減量	SB	2030年	・化石燃料由来のワンウェイプラスチック製広告品類 国内原則廃止	【2023年実績】 72,649kg
			廃棄物・食品ロス削減	・食品再生化等実施率	SLN	2024年	・食品再生化等実施率50%	【2023年度（2023.4～2024.3）実績】 50.6%
				・生産拠点における廃棄物再資源化率	SB,PS		・国内生産拠点における廃棄物再資源化率100%	【2023年度（2023.4～2024.3）実績】 100%
			水資源の保全	・水使用量削減率	SB,PS	2030年	・国内生産拠点における水使用量10%削減（2013年比）	【23年実績】 グループ（SB+PS）：18.0%減
				・水リスク管理	SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,YSM,SSI		・1回/3年以内による全生産拠点等の水リスクを調査 ・水の効率的使用	【2023年実績】 CDP水セキュリティ アリスト企業選定
		自然共生社会の実現	気候変動に対応した原料育種、自然と共生する拠点・まちづくり	・気候変動対応原料育種の進捗	SB	2030年	・気候変動対応可能な特性を持つ大麦・ホップの国内品種登録出願	【2024年上期実績】 （大麦） ・赤かび抵抗性品種候補を公的評価試験に供試、播種を完了。 ・穂発芽耐性関する育種材料について、北海道、カナダにおける育種試験にそれぞれ供試、播種を完了。 （ホップ） ・うどんこ病、べと病抵抗性のDNAによる判別技術確立へ向けて、試験実施中。 ・根系発達に関与する遺伝子に関して、予備調査実施中。
社会との共栄	●	地域との共栄	・地域の価値向上 ・自社リソースを活用した地域課題解決	・エリアブランド価値向上に資する持続可能なまちづくりの進捗	SRE		・保有物件価値向上と賑わいの創出 ・物件エリアのステークホルダーとのコミュニティ形成・強化・拡大 ・誰にでも優しい施設づくり	【2024年上期実績】 ・コミュニティ形成に資するイベント実施件数 26件（恵比寿：21件、札幌：5件）
				・「地域創生事業」の進捗	SB		・自治体と連携した持続可能な地域創りとして、食材商談会における地域の食材サプライヤーと企業のマッチング等を実施 ・商談会における自治体、サプライヤー、バイヤー満足度75.0%以上	【2024年上期実績】 10自治体11案件受託 取り組み継続中。
				・日本のレモン生産の環境構築の進捗	PS		◆長期 ・日本のレモン栽培の豊かな土地と恵みを、未来の人々と地域に受け継ぐ ◆短期 ・毎年最低でも農地の最小単位である2,000㎡を増やす ・自社だけでなくパートナーとともに、栽培耕地の拡大 ・後継不在の農地引き継ぎ、耕作放棄地の再生等の実施	【2023年度実績】 ・島内農家との契約栽培化を実施 ・その他複数のレモン生産地域へのヒアリング実施 ・1,659㎡の契約農地化
				・食品饮料事業に関する地域における学習プログラム（食育、出前授業、工場見学等）の実施件数	PS,SGF	2030年	・2021年比で10倍（400件規模）	【2023年度実績】 250件（2021年比 約6.8倍）
		健康価値の提供	事業を通じた健康価値の提供	「ポッカレモン」ブランド集計【年間購入率（%）・年間購入数量（購入者あたりの本数）】	PS	2030年	・レモンが持つ健康機能の発信や用途・シーンの提案を通じて、レモンの総需要を拡大することで人々のWell-Beingに貢献する	【2023年度実績】 ①年間購入率 14.34（%） ②年間購入数量 1.91（購入者あたりの本数） ＜過去参考値＞ ①年間購入率：20年15.35／21年16.21／22年15.48 ②年間購入数量：20年1.89／21年1.99／22年1.92 【補足】出典元のバネル数変更により数値変更
				・お客様の健康に焦点を当てた商品の展開状況	PK	2030年	・健康に焦点を当てた新商品の開発と市場浸透を進め、売上構成比10%を目指す（POKKA製品に限る）	【2023年実績】 2.7%(sales in Singapore only/シンガポール売上)
				・健康価値提供に資する保有物件の認証取得状況	SRE		・健康価値提供に資する保有物件の認証取得	【2024年上期実績】 2024/5 センタープラザオフィス(B1・2F) CASBEE-ウェルネスオフィス評価認証 最高位「Sランク」取得 ※プラス株式会社との共同取得
				・サステナビリティ調達ガイドラインの遵守率	SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,YSM,FBS,SSI,SLN		・「調達基本方針」及び「サステナビリティ調達ガイドライン」の働きかけ及び浸透策の実施。	【2024年上期実績】 ・各社主要調達先への働きかけに取組み、同意書の取得に向けて対象サプライヤー順次拡大中。 ・サステナビリティ調達アンケート実施中 現状問題となる事象は確認していない。
		持続可能なサプライチェーン構築	・サプライチェーンにおける人権尊重 ・サプライチェーンにおける環境負荷低減 ・安定調達		SB,PS		・主要調達先のサステナビリティ調達ガイドライン 遵守率100%	【2023年実績】 遵守率100%
				SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,YSM,FBS,SSI,SLN		・サプライチェーンの人権尊重を確認できるスキーム ^(※) の確立・実行。 （主要原料と高リスク原料から優先実施） ※①各原料に関するサプライチェーンの一覧化 ②アンケート等による日常活動確認 ③必要に応じた状況調査等 ④必要に応じた是正の確認	【2024年上期実績】 ・各社主要原料、高リスク原料について特定 ・サプライチェーン一覧化とサステナビリティ調達アンケート実施中 ②についてSedex評価スキームの確立と運用に向けて進行中	
				・人権DDプロセスの進行状況	SB,PS	2025年	・主要原料および高リスク原料について、人権尊重された調達になっていることの確認を実施	【2024年上期実績】 ・2次サプライヤー以降のサプライチェーン可視化：取組み中 ・サステナビリティ調達アンケート実施中
				SRE		・不動産事業におけるバリューチェーン人権尊重に関する実態把握	【2024年上期実績】 グループと連携した取り組みを継続	

※ 会社略称表記
SH:サッポロホールディングス、SB:サッポロビール、PS:ポッカサッポロ、
SRE:サッポロ不動産開発、SLN:サッポロライオン、SGF:サッポログループ食品、
SBL:スリーマン、SUSA:サッポロUSA、SVL:サッポロベトナム、PK:ポッカ、YSM:ヤスマ、
FBS:フォーモストブルーシール、SSI:神州一味噌

区分	最注力	重点課題	具体的取り組み	指標	目標設定会社	目標年	目標	2024年上期までの実績
人財の活躍	●	多様な人財の活躍	ダイバーシティ・エクイティ& インクルージョン(DE&I)の推進	・多様な価値観、新しい働き方に合わせた制度・環境の整備状況	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・ワークエンゲージメント(※) 54以上 ※ストレスチェック・従業員意識調査による指標 <偏差値>	【2024年調査結果】 ワークエンゲージメント 54（目標の54以上を前年に引き続き達成）
					SBL		・DE&I研修を受けた従業員の割合 100%	【2023年実績】 DE&I研修を受けた従業員の割合 94%
					SVL		・コンシャス・インクルージョン研修を受講した雇用リーダーの割合：100%	【2023年実績】 リーダーグループ17%と人事部門メンバーに対して実施。
							・DE&I理解度 6.0点（※）	【2023年実績】 5.74点
							・経営陣の中のローカル社員人数 2名	【2024年実績】 1名
							・組織文化調査 6.00点(※) ※SVL社実施の「組織文化調査」による指標（7点満点中）。	【2023年実績】 5.96点
					PK		・エンゲージメント(※) 80% ※PK社実施の「従業員調査」による指標（ベンチマーク76%）。	【2023年実績】 77%
			・女性活躍推進の進捗状況	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・女性取締役比率12%以上、女性管理職比率12%以上	【2024年6月末現在】 女性取締役比率14.7%（SH単体18.2%） 女性管理職比率 6.6%	
				SH	2030年	・女性取締役比率比率30%以上		
				SH,SB,PS,SRE,SLN		・女性管理職比率20%以上		
			成長と生産性向上に向けた人的資本投資	・未来価値創造に向けた挑戦的な風土醸成の進捗度合い	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・統合調査「未来価値創造に向けた挑戦」(※)3.0以上 ※ストレスチェック・従業員意識調査によるサブポログループ独自の調査指標 <1.0～4.0で数値化>。	【2024年調査結果】 2.7
				・積極投資による人財育成（経営人財／グローバル中核人財／DX・IT基幹人財）の進捗状況	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・経営人財後継者の充足	【2024年上期実績】 事業会社にて経営人財育成会議、全社経営人財連絡会議を実施
							・グローバル中核人財100名	【2023年実績】 ・グローバル中核人財：常時100名以上プールしている
							・DX・IT基幹人財200名	【2023年実績】 ・DX・IT基幹人財：200名育成完了
				・心身の健康の良化による生産性向上の度合い	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・プレゼンティーズム損失率(※) 33.4%以下 ※ストレスチェック・従業員意識調査による指標	【2024年調査結果】 ・プレゼンティーズム損失率 33.9%（目標33.4%以下未達）
責任ある飲酒の推進		適正飲酒の啓発	・純アルコール量のラベル表示進捗	SB	2025年	・国産・国内販売の缶入りアルコール飲料、微アルコール飲料容器へ1本当たりの純アルコール量（g）を表示実施率100%	【2024年6月末時点】 ・94%	
			・e-learning等による適正飲酒に関する啓発の社員受講率	SB,SLN		・国内全従業員へのe-learning等による啓発（1回／年以上）100%参加	【2023年実績】 ・9月 eラーニング 全従業員向け 責任ある飲酒の推進 実施 社員受講率 99.4%	
			・飲食店におけるアルコールの誤飲発生件数	SLN		・0件	【2024年上期実績】 ・店舗におけるアルコール誤飲発生件数 0件	
			・飲食店メニュー・POP類へ20歳未満飲酒防止メッセージの表示率	SLN		・100%	【2024年上期実績】 ・飲食店メニュー・POP類へ20歳未満飲酒防止メッセージの表示率 100%	
安全な製品・施設の提供		食品安全	・食品安全保証体制の運用、継続的改善 ・重篤な食品事故の発生件数	SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,FBS,SSI,SLN		・食品安全保証体制への、お客様をはじめとしたステークホルダー（社内を含む）の声の反映。 ・重篤な食品事故の発生抑制	【2024年上期実績】 ・4件の対外告知案件（SB：ワインの表示間違い2件 SSI：業務用商品の表示間違い1件 SLN:EC商品の表示間違い 1件）が発生したものの、重篤な食品事故には至っていない。 <お客様の声を受けての改良> お客様をはじめとしたステークホルダー（社内を含む）の声を反映した事業はない。	
		安全な施設づくり	・施設安全への取り組み状況	SRE		・保有物件における適切な非常用電源の確保 ・保有物件における耐震性能の確実な確保 ・有事対応計画に関する定期的な見直しと訓練の遂行	【2024年上期実績】 計画通り実施	